

## 令和5年度 医療費適正化施策案について

- 1 ジェネリック医薬品使用促進事業
- 2 柔道整復師の施術の療養費適正化事業
- 3 あん摩・マッサージ、指圧、はり・きゅう療養費適正化事業
- 4 医療費等通知事業
- 5 医療機関受診勧奨事業
- 6 適正服薬推進事業
- 7 第4期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）策定等事業
- 8 海外療養費調査業務等業務委託

都広域連合では、上記8事業を令和5年度の医療費適正化施策とし、各事業の内容については下記のとおり検討している。

1 ジェネリック医薬品使用促進事業	R5 予算見積額	130,514千円
	R4 予算額	136,393千円

(1) ジェネリック医薬品差額通知事業	R5 予算見積額	126,025 千円
	R4 予算額	122,195 千円

## ア 事業内容

都広域連合が保有するレセプト情報等を活用して、被保険者に対して先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担の軽減額等を通知する。発送時期については、新たなジェネリック医薬品が薬価基準に搭載される時期に合わせ、6月と12月を予定している。

また、差額通知とは別に、睡眠薬又は認知症薬もしくは両方の薬のみを服用している被保険者に対し、啓発リーフレットを送付する。

## イ 通知対象者

差額通知は、生活習慣病や慢性疾患等で先発医薬品を服用している方で、ジェネリック医薬品へ変更した場合、自己負担軽減額が1か月当たり一定額以上見込める被保険者（悪性新生物及び精神疾患、HIV疾患に関する薬剤は除外する。）。

ウ 令和4年度事業との比較

	令和5年度	令和4年度
発送回数(発送月)	2回 (令和5年6・12月)	2回 (令和4年6・12月)
通知対象レセプト (医科・調剤)	第1回:令和4年12月、 令和5年1・2月 第2回:令和5年6・7・8月	第1回:令和3年12月、 令和4年1・2月 第2回:令和4年6・7・8月
通知件数(見込)	650,000 件 ※ (差額通知:50,000 件、 啓発リーフレット 600,000 件)	650,000 件 (差額通知:50,000 件、 啓発リーフレット 600,000 件)
分析回数	2回	2回
分析対象レセプト (医科・調剤)	1回目効果分析:令和5年8月 2回目効果分析:令和6年2月	1回目効果分析:令和4年8月 2回目効果分析:令和5年2月
使用率調査対象月	令和5年3・9月	令和4年3・9月

※ 医薬品の流通回復状況を注視し、変更の可能性あり。

(2) ジェネリック医薬品希望シール配布啓発事業	R 5 予算見積額	4,489 千円
	R 4 予算額	14,198 千円

ア 事業内容

年齢到達や転入等で被保険者となった方に対してジェネリック医薬品希望シールを送付する。被保険者証やお薬手帳に貼ることでジェネリック医薬品の利用を希望する意思表示が容易になる。

・ジェネリック医薬品希望シール印刷予定部数

	部数	備考
令和5年度	1,166,000 部	年次更新分(※)、年齢到達及び転入分等のほか、ジェネリック医薬品差額通知等に同封(650,000 部)
令和4年度	3,664,000 部	一斉更新分、年齢到達及び転入分等のほか、窓口2割負担の導入に伴う被保険者証の切替発送時に同封

イ 実施時期(予定)

令和5年4月以降	随時配布
令和5年6・12月	ジェネリック医薬品差額通知等に同封して配布

## 2 柔道整復師の施術の療養費適正化事業

R5 予算見積額 22,444千円

R4 予算額 22,669千円

### (1) 事業内容

ア 令和5年6月から9月申請分の柔整療養費支給申請書（以下「柔整申請書」という。）各月約72,000件、合計約288,000件について治療部位や負傷の原因等、柔整申請書記載内容の点検を行い、申請誤りが確認された場合には施術所に返還請求を行う。

イ 内容点検で申請誤りが無かった柔整申請書のうち、長期、頻回又は多部位等に該当する柔整申請書を各月2,000件、合計約8,000件抽出し、被保険者へ施術の利用状況のアンケート調査及び啓発文書を送付する。

回収したアンケート結果と申請内容に相違や疑義がある場合には、施術所への照会を行い、申請誤りが確認された場合には施術所に返還請求を行う。

ウ 令和元年度～4年度の同事業のアンケート対象者の受療行動について追跡調査を行う。

### (2) 調査対象者等

ア 内容点検

対象期間に療養費支給申請があった全ての被保険者

イ アンケート調査

施術部位・施術期間・施術日数が一定の基準を超える被保険者

長 期	3か月を超える期間の施術を受けている
頻 回	1か月当たり概ね15回以上の施術を受けている
多部位	3部位以上の施術を受けている

### (3) 実施時期（予定）

令和5年8月～11月 柔整申請書の内容点検

令和5年9月～12月 令和5年度事業のアンケート調査票を送付

令和6年1月～3月 事業結果の分析・取りまとめ

## 3 あん摩・マッサージ・指圧、はり・きゅう療養費適正化事業

R5 予算見積額 32,918千円

R4 予算額 32,693千円

### (1) 事業内容

ア 令和5年8月から11月申請分のあん摩・マッサージ・指圧、はり・きゅう療養費支給申請書（以下、「あはき申請書」という。）各月約48,500件、合計約194,000件

についてあはき申請書の内容点検（往療算定等）を行い、申請誤りが確認された場合には施術所に返還請求を行う。

イ 内容点検で申請誤りの無かったあはき申請書のうち、初療、長期又は頻回受療等に該当するあはき申請書を毎月約 1,600 件、合計約 6,400 件抽出し、被保険者へ施術の利用状況のアンケート調査及び啓發文書を送付する。

回収したアンケート結果と申請内容に相違や疑義がある場合には、施術所への照会を行い、申請誤りが確認された場合には施術所に返還請求を行う。

ウ 令和元年度～4年度の同事業のアンケート対象者の受療行動について追跡調査を行う。

## (2) 調査対象者等

### ア 内容点検

対象期間に療養費支給申請があったすべての被保険者

### イ アンケート調査

初療又は施術期間・施術日数が一定の基準を超える被保険者

初 療	医師の同意疾病名に対し初回の施術
長期受療	初療日から6か月を超える施術
頻回受療	月 16 回以上の施術

## (3) 実施時期（予定）

令和5年9月～令和6年1月	あはき申請書の内容点検
令和5年11月～令和6年2月	アンケート調査票の送付
令和6年3月	事業結果の分析・取りまとめ

<b>4 医療費等通知事業</b>	<b>R5 予算見積額</b>	<b>225,779千円</b>
	<b>R4 予算額</b>	<b>215,230千円</b>

## (1) 事業内容

都広域連合が保有するレセプト情報等を活用して、被保険者に健康と医療に対する認識を深めていただくとともに、医療機関等の受診歴やかかった医療費等を確認していただくために通知する。都広域連合の審査により、自己負担分が1万円以上減額になる被保険者には、医療費等通知にその旨を記載するほか、医療費控除の申告手続きにも利用できるよう、医療費の自己負担額等の項目を記載している。

なお、令和4年度からはより多くの被保険者に自身の医療費等の状況を確認してもらうとともに、医療費控除の資料として利用してもらえるよう全被保険者へ通知を送付する。

(2) 通知対象者

保険診療で医療機関等を受診した全被保険者

- ・医療費等通知発送予定件数

年度	件数
令和5年度	1, 718, 000 件
令和4年度	1, 676, 000 件

(3) 実施時期（予定）

令和6年1月下旬 通知送付

**5 医療機関受診勧奨事業**      **R5予算見積額 26, 154千円**  
   **R4予算額 31, 751千円**

(1) 事業内容

被保険者のQOLの維持と健康寿命の延伸を図り、医療費の適正化につなげることを目的として、生活習慣病に係る健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者及び骨粗鬆症治療中断者に対し、医療機関の受診勧奨案内通知を送付する。

(2) 通知対象者

- ア 健診の受診結果に異常値があるが、生活習慣病に係るレセプトがない被保険者（健診異常値放置者） 6,800 件
- イ 糖尿病性腎症に係る健診異常値放置者 200 件
- ウ 生活習慣病に係るレセプトがあるが治療を中断している被保険者 10,000 件
- エ 骨粗鬆症に係るレセプトがあるが治療を中断している被保険者 5,000 件

(3) 実施時期（予定）

- 令和5年7月 健診異常値放置者に関する受診勧奨通知 発送
- 令和5年9月 生活習慣病治療中断者に関する受診勧奨通知 発送
- 骨粗鬆症治療中断者に関する受診勧奨通知 発送
- 令和6年3月 効果分析結果とりまとめ

**6 適正服薬推進事業**      **R5予算見積額 18, 914千円**  
   **R4予算額 25, 608千円**

(1) 事業内容

重複処方及び多剤併用等に該当する被保険者が、必要以上の医薬品を使用している

状態でおきる副作用などの有害事象を減らすことで、被保険者の健康を保持し、かつ医療費の適正化を目的として、医療機関や薬局に相談を促す通知を送付する。

(2) 通知対象者

合計処方日数などの条件のもと、重複処方・多剤併用に該当する被保険者  
10,000 件

(3) 実施時期（予定）

令和 5 年 8 月      通知発送  
令和 6 年 3 月      事業の効果分析・結果取りまとめ

## 7 第 4 期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）策定等事業

**R 5 予算見積額    16,500 千円**

(1) 事業内容

令和 6 年度以降の高齢者保健事業及び医療費適正化事業の実施計画である「第 4 期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）」策定のための医療費分析や事業の企画・検討等について事業者に委託するとともに、東京都や市区町村等の各関係団体の意見をふまえ計画策定を行う。

(2) 計画期間

令和 6（2024）年度    ～    令和 8（2026）年度

(3) 実施時期（予定）

令和 5 年 4 月～ 9 月      計画案の検討・作成等  
令和 5 年 10 月              部長会・課長会で計画（概要版含む）案を報告  
令和 5 年 11 月              東京都、市区町村へ計画案に対する意見照会  
令和 6 年 1 月～ 2 月      計画案に対するパブリックコメント実施  
令和 6 年 2 月              医療懇談会に最終報告  
令和 6 年 3 月              計画策定

## 8 海外療養費調査業務等業務委託

**R 5 予算見積額    770 千円**

**R 4 予算額          354 千円**

(1) 事業内容

海外療養費支給申請に係る療養費支給申請書の審査後、支給予定金額が高額のものや、申請内容等に疑義があるものを対象に、書類の再翻訳、現地医療機関の所在確認、療養内容の再確認等を行う。

(2) 調査対象者

海外療養費支給申請を行った被保険者のうち約 50 名

(3) 実施時期（予定）

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月